

第 856 回 例 会

2年10月16日

本日のプログラム

- ・ソング 「故郷（ふるさと）」
 - ・卓話 和氣 勝海 会員 「事故紹介」
 - ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」
- ※例会終了後には、アフター例会を予定

次回(10月23日)のプログラム

- ・ソング 「故郷（ふるさと）」
- ・卓話 井上「 清司 会員 「自己紹介」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」

SAAからのお知らせ

ロータリーソングに代わり、季節の歌・唱歌・童謡などを月に1～2回の頻度で合唱したいと思います。
 今月は「故郷（ふるさと）」です。 よろしく願いいたします。

先週(10月2日)の例会報告

■会長の時間

【祇園祭】

7月～9月まで、ロータリーについて一緒に勉強をしていただいていたのですが、肝心な事はお話しできたかなと思います。
 10月からは、各地の祭りについてのお話をさせて頂こうと思っています。

菅政権も東京一極集中を打破して、地方創生をと政策を進めていくようですが、地方に新しくスマートシティを作ることも大事ですが、私は祭りを復興させる事も、地方の活性化に役立つと思っています。例えば、岸和田のだんじり祭りや徳島の阿波踊りは、ふるさと再生の有効な手段になっています。その土地を愛する多くの出身者は祭りの日には必ず帰省しますし、祭りがあるから地方に残る若者も多いと思います。文化伝統は代々、受け継がれていくことで、町は活性化の持続が可能になると思います。

今日は、祇園祭についてお話をさせて頂きます。祇園祭という名称は、八坂神社が神仏習合の時代に、比叡山延暦寺に属して祇園社と呼ばれていたことに由来します。祇園祭は日本三大祭り(天神祭・神田祭)の一つであり、京都三大祭り(葵祭・時代祭)にも挙げられています。日本で最も有名な祭りと言っても過言ではないと思います。

祇園御霊会(ぎおんごりょうえ)の起源は869年、富士山の大噴火や地震や津波、疫病などの災害が重なり、社会不安が深刻な状況になって、それらの穢れを祓うために66本の矛をたて、神輿3基を贈り、薬師如来を本地とする牛頭天皇を祀り、御霊会を執り行ったのが起源とされています。

また、山鉾巡行の起源は室町時代に至り、四条室町を中心とする下京地区に商工業者の自治組織両側町が成立すると、町ごとに趣向を凝らした山鉾を作って巡行させるようになった。それまで単独で巡行していた竿状の鉾と、舞踊を演じる稚児を乗せた屋台と合体して、現在みられるようになった鉾車が成立し、さらに、猿楽能の演目を写した作り物の山が加わったと言われています。ただ、応仁の乱の後、天文法華一揆の最中、幕府と延暦寺は祇園御霊会を中止にしたのですが、町衆が「神事これ無くとも、山鉾渡したし」と再三訴えて山鉾巡行を復興したと言われています。江戸時代には大火があったり、明治時代には寄町制度が廃止されたりなど、幾度の苦難を乗り越えて、現在も立派に、町衆の山鉾巡行は続けられています。現在は保存会をつくり、新住民や外人も加わって、伝統文化を継承してくれています。祇園祭は、我々関西人にとっては身近で大事な祭りのひとつです。

【来客紹介】 3名

【出席報告】

2年10月2日(第855回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
38名	1名	25名	12名	67.57%

【幹事報告】

〔全会員メールBOXへ〕

1)ロータリーの友(10月号)

2)地区大会パンフレット

〔メール送信〕

1)第37回クラブ公式ゴルフコンペ(10/14)最終案内

2)ロータリーの友10月号推奨記事と関連記事のご紹介

〔回覧資料〕

1)アフター例会(10/16)の出欠表

ニコニコ箱(10月2日)

福島 三雄 =本日は、簡仁一ガバナー、よろしく願い致します。

先日、大阪出身の囲碁の井山棋聖が、名人挑戦手合において3勝目を挙げ、あと1勝としました。

樋上 久代 =こんにちは。 やっと10月10日より京都競馬場に一般入場が許されました。 1日778席ですが、今年で京都競馬場が取り壊されます。 最後の観戦に間にあってくれて嬉しいです。 新しく建て替えた競馬場に皆さんと行ける日を楽しみにしています。

川上 大雄 =今年はコロナに始まり、中東では戦争がまたもや、早く平和な日々を取り戻したいですね。

森本 良嗣 =エライ事です。 パストバッジ紛失したみたいです。 簡ガバナー、ご訪問 有難うご在居ます。

中根三恵子 =簡ガバナー、ようこそお越し頂きました。 本日は、卓話 楽しみにしています。

中井 周治 =簡ガバナー、本日はご訪問、ありがとうございます。 卓話、楽しみにしております。

大屋 準一 =簡ガバナー、本日の公式訪問、ありがとうございます。 ご指導、よろしくお願い申し上げます。

笹倉 光雄 =残り3ヶ月となりました。 コロナで時も早く、バタバタして年末に向かっていきます。 早く過ぎやすい、安心できる様に願います。

高野 幸雄 =簡ガバナー、本日は御指導の程、よろしくお願い致します。

辻田 知史 =先週末は、ロータリー例会を少し早く退出させていただきましたため、佐田委員長の「RAC提唱」のお話を聞くことができませんでした。 すみません。 その日から2日間、東京の方へ連れて行って頂いたのですが、当日の夕刻より歌舞伎を観て、夕食はドラマでも有名になったカンテサンスのフレンチを食べ、次の日はアースモンダミンカップが開催されるゴルフ場にてVIP待遇にてプレーさせて頂きました。 何とロッカー室が1人の1部屋 用意していただくという夢のような待遇で、目が点になってしまいました。 ゴルフの方は相変わらずドライバーイップスが出てボロボロボロンチョの状態でしたが、その日の夕食がこれまた超有名鮎店に連れて行って頂き、舞い上がってしまいました。 本当に夢のような週末2日間でした。 ありがとうございます。 また行きたいです。

本日は、簡ガバナー 公式訪問ということで、ようこそお越し下さいました。 卓話、よろしくお願い申し上げます。

和氣 勝海 =簡ガバナー、本日はようこそお越し頂きました。 ご指導、宜しく願い致します。

吉田 正信 =久々の出席です。 病み上がりで、まだボーとしています… あっ、前からでした。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 12000円

今年度合計 5418076円

卓話(10月2日)

国際ロータリー第2660地区 簡 仁一 ガバナー 公式訪問

ホルガー・クナークRI会長テーマ 「Rotary Opens Opportuniti」～ロータリーは機会の扉を開く～

クナーク会長は、このテーマについて、ロータリーがクラブに入会するというだけではなく、「無限の機会への招待である」という思いを込めた、と語っておられます。

「奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである」と力説され、「ロータリーは、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与える」とも述べられました。

そのうえで、「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」と強調されました。

このRI会長のテーマに基づき、2020-21年度第2660地区の年次目標を6項目掲げました。

1. 会員基盤の強化

年代、職業、男女の別いずれにおいても、多様な会員を受け入れる柔軟性と、ロータリーの基本的な価値観を再認識し、クラブのあり方を方向づける「クラブビジョン」を作成しましょう。問題意識を共有し、会員の退会を防ぐ姿勢を、だれもが持ち続ける必要があります。

2. ポリオの根絶

現在、ポリオウイルス株の2型、3型は根絶され、あとは1型だけです。日本時間8月26日に、WHOが、アフリカでポリオが根絶されたと宣言しました。これにより、ポリオの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけとなりました。ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶことになります。世界中で根絶されるまで活動を続けていきましょう。

3. 青少年の活動を支援

未来を担う若い世代を支援し、リーダーを育てることは、ロータリアンの使命です。当地区は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、米山奨学生、ロータリー学友などの青少年プログラムに積極的に取り組んでいます。ロータリアンと青少年がともに活動できる奉仕の機会を、さらに作っていきましょう。

4. ロータリー財団活動の推進

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕プロジェクトを支える柱です。年次基金は、3年後の奉仕活動の資源となり、恒久基金は将来のロータリー活動を担保し、ポリオ基金はウイルスとの闘いの象徴です。ご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

5. 米山記念奨学会活動の推進

日本と海外との懸け橋となる米山奨学生の支援をお願いします。4月から継続を含めて、49名の米山奨学生が、皆さんのクラブでお世話になっております。未来を担う若い力を応援してください。

6. IT化の推進と公共イメージの向上

IT化は避けては通れません。My Rotaryの登録、クラブセントラルの活用をぜひ、よろしくお願いいたします。ロータリーについて知ってもらうための一番の広告塔は、ロータリアン自身です。会員以外の人にも、ロータリーに親しんでもらう機会をつくっていきましょう。

私は、地区スローガンを決定するにあたって、3つのことを考えました。

① 基本の再認識を

ロータリーは変わったのか、という声をよく耳にしますが、私はそうは思いません。2019年－20年度の新しい標準ロータリークラブ定款は、表現が多少異なっているとはいえ、基本となる考え方は従来と同じです。それは、すなわち、四つのテスト、超私の奉仕、中核的価値観といったロータリーの価値観です。

そして、ロータリーは、こうした価値観を共有する人たちの集まりであり、だからこそ、確かな信頼関係が築かれているのです。今こそ、ロータリーの基本を再認識しましょう。

② 誇りと自信を持って

ロータリーで、私は、多くの尊敬できる先輩の皆さん、多くの信頼できる友人を得ることができました。一人ではなかなかできない奉仕活動に取り組むことができ、その活動を通して、大きな感動を得ることもできました。

こうした素晴らしい集まりの会員であることに改めて意識を向け、ロータリアンとしての誇りと自信を、皆さんに持っていただきたいと思えます。

③ 未来をつくる

時代に対応する多様性、柔軟性、適応力がなければ、ロータリーの未来を創っていくことはできません。例えば、SF映画のように、過去に戻って、今を変えることはできないのです。しかし、未来は、私たちの手の中にあります。私たちが、未来をつくっていくことができるのです。

私は、こう呼びかけたいと思います。

ロータリーの基本を再認識してください。

ロータリアンとしての誇りと自信を持ってください。

そして、一緒にロータリーの未来をつくっていきましょう。

そこで、地区スローガンは

「Back to the Basics and Fly to the Future」(ロータリーの基本に戻って、新しい未来へ) の意味を込めて
BACK, To the FUTURE ~基本に戻って、未来へ~ とさせていただきます。

これから一年間、クラブの皆さまとともに、基本を見つめ直して考え、歩んでまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか